

品番	LEDB-2258X	(灯具部：真球タイプ 電源ブロック部：埋込形)	LEDB-2260X	(灯具部：半球タイプ 電源ブロック部：埋込形)
	LEDB-2259X	(灯具部：真球タイプ 電源ブロック部：直付形)	LEDB-2261X	(灯具部：半球タイプ 電源ブロック部：直付形)

保管用



・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

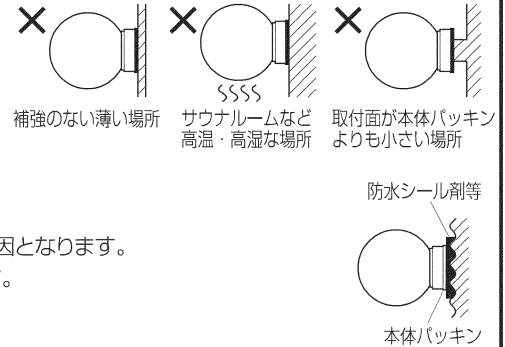
施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

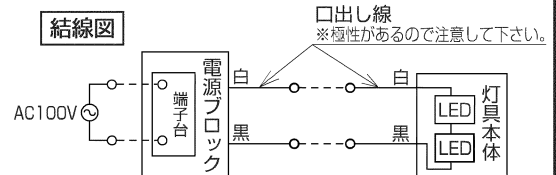
警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実に行う。
施工に不備があると非常点灯しないほか、火災・感電・落下の原因となります。
- ボックス取付専用器具です。指定方法以外の取付けはしない。
(半球タイプの灯具部は壁面直付専用器具です。天井取付けはしない。)
火災・感電・落下の原因となります。
- 器具を改造しない。火災・感電・落下の原因となります。
- 取付面に凹凸がある場合は防水シール剤等ですきまを埋めて防水をする。
防水が不完全な場合、火災・感電の原因となります。
- 灯具部を壁面直付する場合、水抜き穴を下にして取り付ける。火災・感電の原因となります。
- D種(第三種)接地工事を行う。接地が不完全な場合、火災・感電の原因となります。
- 表示された電源電圧(定格電圧 $\pm 6\%$)・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電の原因となります。
- 蓄電池を短絡、分解等しない。火災・感電・破裂・やけどの原因となります。



注意

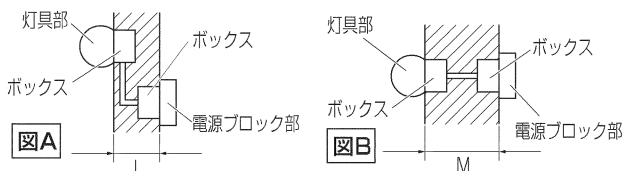
- この器具の電源部は屋内に取付けてください。取付が不完全な場合、火災・感電の原因となります。
 - 直射日光の当たる場所、振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
 - 周囲温度は、5～35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、蓄電池の劣化や火災及び非常点灯しない原因となります。
 - 48時間充電後⇒非常点灯確認してください。
充電しないと非常点灯しません。
 - 灯具本体に直接AC100Vを印加しないでください。
火災・感電・不点・LED破損の原因となります。
- ※電源ブロックへの電源接続は端子台、電源ブロックと灯具本体の接続は口出し線です。
- 器具の取付け取外しは手袋など保護具を使用してください。けがの原因となります。



各部のなまえと取付方法

1 取付前の確認

- ・【表1】の器具質量に十分耐えるよう、取付面の強度を確保してください。
不備があると感電・落下及び非常点灯不良の原因となります。
- ・灯具部からガラスグローブを取外す。
(3ページ【ランプユニット交換方法】①参照)
電源ブロック部からカバーを取外す。
(3ページ【蓄電池交換方法】①参照)
- ・【表1】のボックスを使用し、ボックス内結線を行ってください。
- ・電源ブロック部と灯具部の距離は1m以内にしてください。
(導体断面積：0.75mm²の場合)
- ※1m以上にする場合は距離に比例して導体断面積を大きくしてください。
代表的な各電線における適合距離は【表2】を参照してください。
- ・取付壁厚は【表3】の値以上を必要とします。



- ・壁構造と使用電線によっては、金属管工事が必要となります。
- ※【表4】にしたがって施工してください。

【表1】

器具タイプ(器具質量)		適合ボックス
灯具部	真球タイプ (1.2kg)	アウトレットボックス (真球タイプのカバーはピッチ66.7mmを使用)
	半球タイプ (1.0kg)	
電源ブロック部	埋込形 (0.8kg)	4個用スイッチボックス
	直付形 (1.0kg)	アウトレットボックス、1個用スイッチボックス

【表2】

適合距離	1.0m以内	2.6m以内	4.6m以内	7.3m以内
導体断面積	0.75mm ²	2.0mm ²	3.5mm ²	5.5mm ²

【表3】

取付方法	品番	電源ブロック部：埋込形	電源ブロック部：直付形
図Aの場合		L $\geq$ 70mm	L $\geq$ 60mm
	図Bの場合	M $\geq$ 125mm	M $\geq$ 115mm

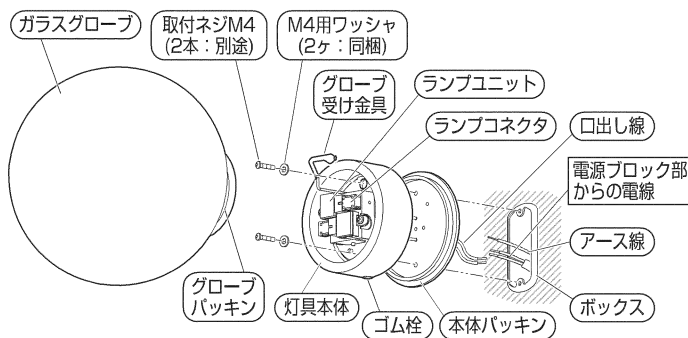
【表4】

壁構造	使用電線	600V二種ビニル絶縁電線(JIS C 3317)	MIケーブルまたは耐火ケーブル
耐火構造		金属管工事必要	金属管工事不要
非耐火構造		(金属管工事) + (耐火構造)	金属管工事不要

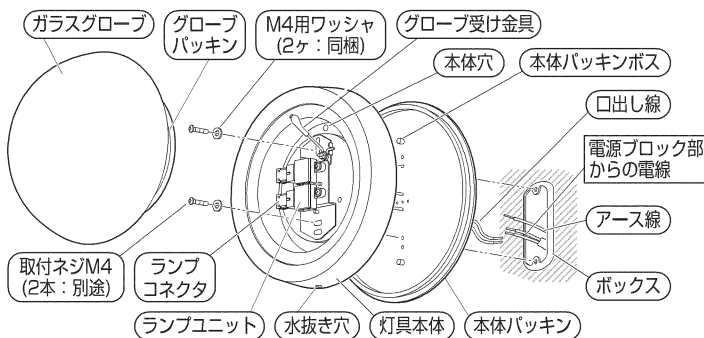
各部のなまえと取付方法 (つづき)

灯具部の取付方法(屋外側) (IP23)

【灯具部：真球タイプ】

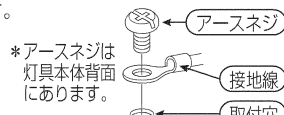


【灯具部：半球タイプ】



2 灯具本体と電源ブロックの接続

- ・ 本体パッキンに口出し線及びアース線を通してから、灯具本体口出し線と電源ブロックの口出し線を接続する。
- ※接続方法は1ページ目の注意欄内の結線図を確認してください。
- 注) 本体パッキンには貫通していない穴があるので、突き破ってから使用してください。
- ※口出し線には極性があるので注意してください。
- 接続に不備があると、火災・感電の原因となります。
- ・ 必ずD種(第三種)接地工事を行ってください。
- ※接地工事は灯具部のみです。
- 接地が不完全な場合、火災・感電の原因となります。



3 灯具本体の取付

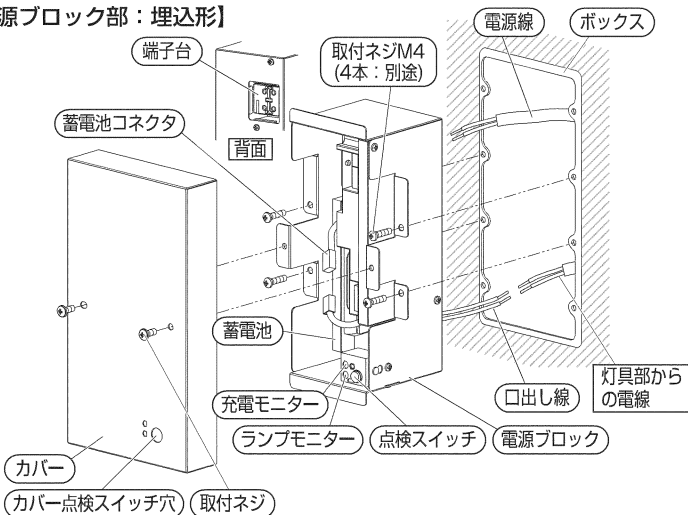
- ・ 取付ネジM4X25以上(2本: 別途)とM4用ワッシャ(2ヶ: 同梱)を使用してボックスに取付けてください。
- 不備があると、器具落下の原因となります。
- 注) 半球タイプ器具は本体パッキンにボスが設けてあるので、本体穴に嵌め込むようにして灯具本体を取付けてください。
- 注) 真球タイプ器具を壁面取付する場合は、本体側面に取付けているゴム栓を外し、水抜き穴を開けてください。
- 注) 壁面取付する場合はゴム栓位置及び水抜き穴が下側に来るようにして取付けてください。
- ※ランプユニットにランプコネクタが確実に接続されていることを確認してください。
- 取付が不完全な場合、火災・感電・落下の原因となります。

4 ガラスグローブの取付

- ・ 3ページ【ランプユニット交換方法】⑤を参照し、ガラスグローブを灯具本体に取付ける

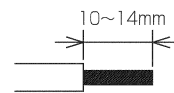
電源ブロック部の取付方法(屋内側) (IP20)

【電源ブロック部：埋込形】



5 電源ブロックに電源線の接続

- ・ 電源線を端子台に確実に接続する。
- 注) 埋込形器具は電源ブロック背面に端子台があります。
- ・ この器具は、端子台での送り配線が可能です。 (端子台の送り容量は20Aです。)
- 適合電線: $\phi 1.6$ (単線) $\phi 2.0$
- 接続が不完全な場合や接続を間違えた場合や容量オーバーした場合、火災・感電の原因となります。



6 電源ブロックの取付

- ・ 各品番に対応する適合ボックスに取付けてください。
- 取付が不完全な場合、落下の原因となります。

7 蓄電池コネクタの接続

- ・ 蓄電池コネクタの方向を合わせ確実に奥まで差し込む。
- 方向を間違えると器具が故障します。
- 接続が不完全な場合、非常点灯不良の原因となります。



8 充電状態と非常点灯の確認

- ・ 電源通電状態でランプユニット及び充電モニター、ランプモニターの点灯状態を確認する。
- ・ 48時間充電後点検スイッチを押し、非常点灯するかを確認する。

【充電モニター】 蓄電池の充電がなされているか確認できるものです。

- 緑色点灯……正常です。
- 点灯しない……蓄電池が充電されていません。
- 非常点灯になっていないか、または、蓄電池コネクタが外れていないかを確認してください。
- 緑色点滅……蓄電池の交換時期の目安です。

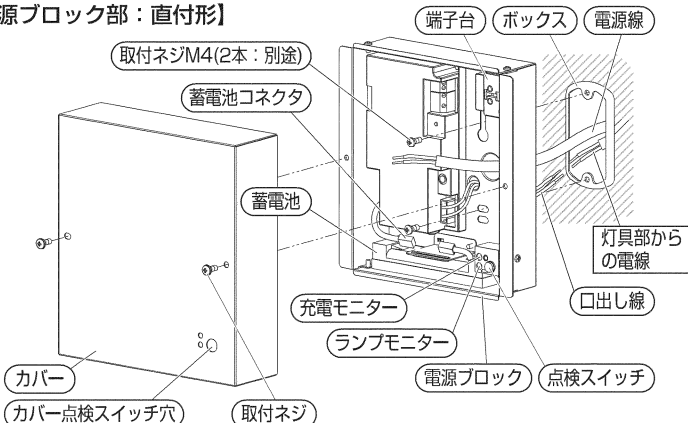
【ランプモニター】 ランプユニットの交換時期や異常などをお知らせするものです。

- 点灯しない……正常です。
- 赤色点灯……ランプユニットの接続に異常が発生しています。
- 赤色点滅……ランプユニット交換時期の目安です。
- 正常に動作しない場合は「故障かな?」と思ったときは」の項を参照してください。

9 カバーの取付

- ・ 点検スイッチとカバーの点検スイッチ穴の方向を合わせて、取付ネジ(2本)にて確実に取付ける。
- 取付けに不備があると、落下の原因となります。

【電源ブロック部：直付形】



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 器具を改造しない。火災・感電・落下の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事に修理を依頼する。そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

注意

- お手入れ・部品交換の際は、必ず電源を切ってください。感電及び点灯不良の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。
- 蓄電池を加熱したり、火や水の中へ入れたりしないでください。破裂する危険があります。
- 蓄電池は絶対に分解しないでください。感電・やけどの原因となります。電池内の液は、皮膚や衣類をいためます。
- 蓄電池のショートは絶対にさけてください。火災・感電・破裂・やけどの原因となります。
- 照明器具には寿命があります(※1)。放置すると火災の原因となります。

※1：照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な目安は8～10年です。蓄電池は4～6年です。

■LED照明器具の光源寿命(※2)は、60000時間です。(照明器具の寿命とは異なります。)

※2：光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。

■ランプユニットにはバラツキがあるため、ランプユニット内のLED及び同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

お手入れ・部品交換

- 器具の清掃について…水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。

シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。

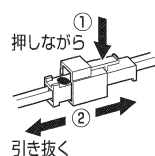
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

- 部品の交換について…右記の指定された部品を使用してください。

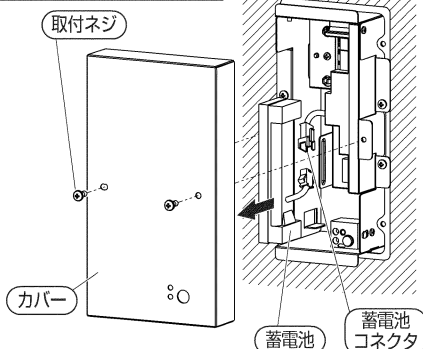
蓄電池	ランプユニット
FK731(2.4V 700mAh) (パナソニック製)	NKNF20241Z91S (パナソニック製)

【蓄電池交換方法】

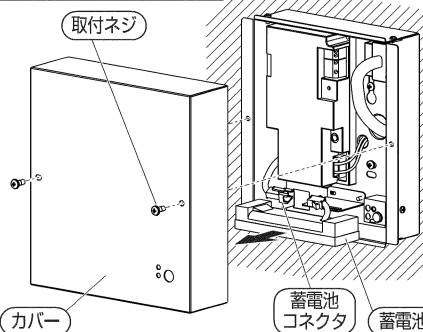
- ①取付ネジ(2本)を外し、カバーを取り外す。
- ②蓄電池コネクタを取り外し、蓄電池を交換する。
- ③交換後は『各部のなまえと取付方法』の手順にて施工してください。



電源ブロック部：埋込形

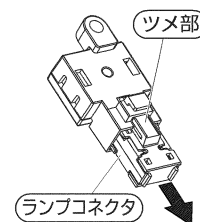


電源ブロック部：直付形

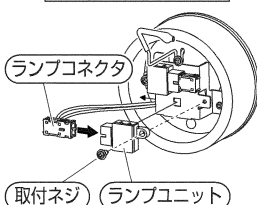


【ランプユニット交換方法】

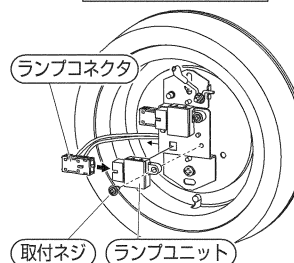
- ※交換の際は、必ず電源を切ってください。
- ※ランプユニットの交換は必ず2本同時に行ってください。
- ※リセットスイッチは電源ブロック部にあります。
- ①ガラスグローブを外す。【図1】
- ②取付ネジを取り外し、ランプユニットを外す。【図2】
- ③ランプコネクタを外し、ランプユニットを交換する。
 - ・ランプコネクタはツメ部を押しながら取り外してください。
- ④リセットスイッチを2秒以上押す。【図3】
- ⑤ガラスグローブを確実に取付ける。【図1】
 - ・取付後、ゆらみ、ガタツキ等がないかを確認してください。
 - ・取付が不完全な場合、落下の原因となります。



灯具部：真球タイプ



灯具部：半球タイプ



【図2】

- ①取付ネジを外す。
- ②スライドする
- ③取外す。

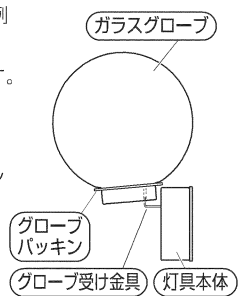
【図1】 ※図は真球タイプ器具の例

<ガラスグローブの取外し>

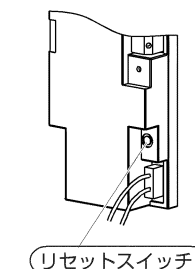
- ・ガラスグローブを反時計回りに回す。
- ・グローブ受け金具からガラスグローブを外す。

<ガラスグローブの取付>

- ・ガラスグローブにグローブパッキンがはまっていることを確認する。
- ・ガラスグローブをグローブ受け金具と灯具本体の間に差し込む。
- ・ガラスグローブを時計方向に回して確実に締付ける。



【図3】



器具定格・接続図

品 番	電源電圧	周波数	消費電力
LEDB-2258X, LEDB-2259X, LEDB-2260X, LEDB-2261X	AC100V	50/60Hz	2.5W

※接続図については誘導灯ブロックの銘板、定格の詳細については器具の銘板を参照ください。

使用上のご注意

- ・電源を通电しないまま蓄電池コネクタをつないで放置しないでください。非常時に点灯しません。また、蓄電池の寿命が短くなります。
- ・長時間使用しない場合は、蓄電池を外して保管してください。
- ・点検時以外は点検スイッチを操作しないでください。
- ・ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり、正常に動作しない場合があります。
- ・同時通訳器等の誘導無線をご使用になられる場合、雑音が入る場合があります。事前に確認し、対策を講じてください。

保証について

- ・保証について……この商品の保証期間は1年間です。ランプユニット・電池等の消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について……保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- ・補修用性能部品……弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

- 定期点検 3ヵ月に1回は、破損・変形などの外観の点検をおすすめします。(ガラスグローブのゆりみ等の確認)
6ヵ月に1回は、必ず非常点灯持続時間、切替動作などの機能点検も合わせておこなってください。

○設置年月日 年 月 日

○取付場所

○器具No.

点検年月日	点検状態		点検者		点検年月日	点検状態		点検者		点検年月日	点検状態		点検者
	外観	機能				外観	機能				外観	機能	

故障かな？と思ったときは

表に従ってお調べいただき、なお異常がある場合は、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼してください。

現 象	考えられる原因	処 置
●常時、ランプユニットが点灯しない	出力停止モードになっている	点検スイッチを押す
	ランプユニットの寿命	ランプユニットを交換して、リセットスイッチを2秒以上押す
	ランプコネクタが外れている	ランプコネクタを確実に接続して点検スイッチを押す
●非常点灯しない	蓄電池コネクタが外れている	蓄電池コネクタを接続する
●短時間しか点灯しない (30分未満)	蓄電池の充電不足(保管時の自然放電や、施工時の放電など)	連続48時間以上充電する
	蓄電池の寿命	蓄電池を交換する
●ガラスグローブが暗い	点検スイッチが引っ掛かって非常点灯状態になっている	点検スイッチの引っ掛かりを直す
●充電モニターが点灯しない	蓄電池が外れている	蓄電池コネクタを接続する
	点検スイッチが引っ掛かって非常点灯状態になっている	点検スイッチの引っ掛かりを直す
●ランプモニターが点滅している	ランプユニットの寿命	ランプユニットを交換して、リセットスイッチを2秒以上押す
	ランプ交換時、リセットスイッチを2秒以上押していない	リセットスイッチを2秒以上押す
●ランプモニターが点灯している	ランプユニットが外れている	ランプコネクタを確実に接続して点検スイッチを押す
	ランプユニットが破損している	ランプユニットを交換して、リセットスイッチを2秒以上押す



Ni-MH

この器具は、“ニッケル水素電池”を使用しております。ご使用済みの“ニッケル水素電池”は貴重な資源です。再利用しますので、廃棄しないで電池パックのまま充電式電池リサイクル協力店へお持ちしていただくか、または“一般社団法人JBRC”に依頼してリサイクルしてください。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝ライテック商品ご相談センター

0120-66-1048 (通話料：無料)

携帯電話 046-862-2772 (通話料：有料)

FAX 0570-000-661 (通信料：有料)

ホームページアドレス <https://www.tlt.co.jp/>

・お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。

・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社へ、お客様の個人情報を提供する場合があります。

日本国内専用

Use only in Japan

東芝ライテック株式会社

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34